



5月・6月・7月の行事日程一覧

5月5日（木・祝）【子どもの日恒例】（要申込）
「第34回親と子の歴史ウォーク」

5月15日（日）【ぶら探訪39】（要申込）
「福山城下町（第2回）一城下南一」

5月28日（土）・29日（日）【一泊旅行】（要申込）
「四国高知と南予を巡る旅」

5月31日（火）【分布調査】（要申込）
中世石造物調査31（今津町・本郷町）

6月4日（土）【ぶら探訪40】（要申込）
「福山城シリーズ第5弾！小丸山～本丸」

6月12日（日）【バス例会】
「備中・浅口の城館を探訪する」

6月25日（土）【分布調査】（要申込）
中世石造物調査32（新市町）

7月2日（土）【ぶら探訪41】（要申込）
「柳津を歩く。縄文から古のロマンへ。」

7月23日（土）【特別歴史講演会】
「弥生から古墳時代の出雲と吉備の葬送儀礼」

5月14日（土）【近世・近代史部会】「近世福山を読む」
5月19日（木）【古文書講座】「古文書入門」
5月21日（土）【中世史部会】「中世を読む」
6月11日（土）【近世・近代史部会】「近世福山を読む」
6月18日（土）【中世史部会】「中世を読む」
6月24日（金）【古文書講座】「古文書入門」
6月25日（土）【古代史部会】「古墳講座」

- ◎5月の「古文書入門」は第3木曜日です。
お間違えなきようお願いします。
- ◎5月の「古墳講座」はお休みです。

事務局便り

今回は、研究論文集『備陽史研究（旧「山城志」）第24集』1冊と会員1人様1枚ずつの会員証を同封しております。ご確認ください。5月の一泊旅行は残席わずかです！お申し込み予定の方はお早めをお願いします。6月のバス例会もお申し込みはお早めに。

2016（平成28）
行事案内
5月号

備陽史探訪の会の目的
備後を中心とした地域の歴史を研究し、愛郷の精神を涵養する。
（会則第1章第2条より）



行事参加のお申込は

「要申込」のある各行事参加の申込は以下のいずれかよりお申込ください。

- ◎公式サイトの参加申込フォーム
「<http://bingo-history.net>」
- ◎事務局へメール
「info@bingo-history.net」
- ◎田口会長宅へ電話
[084-953-6157]

〔備陽史探訪の会事務局〕
〒720-0824
広島県福山市多治米町5-19-8
TEL&FAX 084-953-6157
E-mail info@bingo-history.net

公式サイト
<http://bingo-history.net>

5月15日(日)

ぶら探訪 39

福山城下町 第2回 —水野時代の城下南を歩こう—

要
申込

今回は「近世福山を読む」で取り上げた入川南側の町人町（神嶋）を実地探訪します。そして神嶋の西側（城南）の侍町も訪れます。草戸明王院や福山八幡宮西の宮ならびに東の宮の旧跡地、そして城下建設を指導した家老中山将監の墓石や治水事業などに辣腕を揮った総奉行小場兵左衛門や神谷治部の屋敷跡、さらに韮奉行荻濃新右衛門の屋敷跡などもご案内します。

【集 合】 午前9時

JR福山駅南口「五浦釣人」銅像前
※雨天決行

【参加費】 100円（会員） 300円（一般）

【講 師】 高木 康彦（近世近代史部会長）

【主な見学地】

大手門前旧神嶋町（城下最初の町人町）・藤井佐助屋敷跡（藤井皓玄子孫）・小場兵左衛門（干拓時総奉行）屋敷跡・荻濃新右衛門（初代韮町奉行）屋敷跡・神嶋町旧明王院跡（現草戸明王院）・惣堂八幡跡（のち延広八幡・東の宮）・道三町・山田口津留番所跡・尾道鞆街道追分道標・野上八幡跡（のち西の宮）・泉龍寺（築城時総奉行中山将監五輪塔）・神谷治部（土木の神様）屋敷跡・大手門周辺外濠跡

【その他】

※飲み物持参、歩きやすい服装・靴で参加。

※解散は福山駅前（11時半頃の予定）



5月31日(火)

分布調査

中世石造物調査 31

第31回目は、今津町・本郷町を調査します。事前の所在確認や調査カード作成をお願いします。

【集 合】 午後1時30分

松永支所駐車場
（松永町 3-1-29
西部市民センター）

要
申込

【その他】

※雨天の場合は中止し、後日実施。実施可能かどうか、微妙な天気の際は、田口会長宅へ電話での確認をお願いします。

※なお、

6月25日（土）は新市町で実施する予定です

第34回

親と子の

歴史ウォーク

◇ 5月5日（木・子どもの日）

今年の子どもの日は
山手銀山城跡に
集合！



5 月 28 日(土) ~ 29 日(日) 平成 28 年度一泊旅行

要
申込

申込金必要

残席わずか

四国高知と南予を巡る旅

備陽史探訪の会伝統の行事、一泊研修旅行を来る5月28日(土)29日(日)の日程で実施致します。今年は、平成16年に実施した阿波徳島の旅以来12年ぶりに四国を訪ねます。会の歴史をひも解くと、四国を一泊旅行で訪ねるのは4回目、今回は初めて高知県と愛媛県の南部を訪ねます。主な見学地は長曾我部元親の居城「岡豊城跡」、高知城、公家大名として有名な土佐一条氏の本拠中村など。宿は太平洋に臨む絶景「足摺岬」にとりました。有意義で楽しい旅行にしたいと思っておりますので、多数のご参加をお願いいたします。(会長 田口義之)



土佐清水市観光協会HPより

【集 合】 午前6時50分
JR 福山駅北口観光バス乗り場

【参加費】 29,000 円 (会員)
32,000 円 (一般)
(1泊4食付)

【募集数】 43 名

【講 師】 田口 義之 (会長)

【申込方法】

予約金1万円を納入されてはじめて正式な参加申込みとなります。なお、残金は旅行当日にお支払い頂きます。

※申し込まれた方には振替用紙を発送、申込金を確認された時点で正式な申込となります。また、事前に他の行事に参加された時に直接事務局に申込金をお渡ししていただいても結構です。

【キャンセルについて】

5月20日(金)までのキャンセルは、申込金を全額返却します。それ以後のキャンセルは、ホテルにキャンセル料を取られますので全額の返却はできません。

【宿泊】

みさきホテル

(土佐清水市足摺岬215) Tel 0880-88-0306

足摺の空と海! 荘厳な絶景を満喫!
温泉大浴場&全室オーシャンビューなので
全室から太平洋の絶景を味わえます。

【その他】

※食事は1日目の昼・夜、と2日目の朝・昼がつきます。
※雨天決行、歩きやすい服装で。
※29日午後7時ごろ福山帰着の予定。

【主な見学地】

◎岡豊城跡 (高知市)

土佐の戦国大名長曾我部氏の居城跡。曲輪の一角に高知県立歴史民俗資料館が建つ(国指定史跡)

◎高知城跡 (高知市) 日本 100 名城 No. 84

山内一豊が土佐20万石の居城として築いた城。天守を初め本丸の建物が完全に残る全国唯一の城として有名(日本100名城)。

◎中村城跡 (四万十市)

中村は公家大名一条氏の本拠で「小京都」と呼ばれた。近世に入ると山内康豊が2万石で入城、城を近世城郭に変えた。現在城跡には犬山城を模した四万十市立郷土資料館が建っている。

◎足摺岬・金剛福寺 (38番札所)

四国最南端の岬、ここから見る太平洋は絶景です。

◎宇和島城跡

(愛媛県宇和島市)

日本 100 名城 No. 83

築城の名手藤堂高虎が築城した名城。後伊達氏10万石の居城となった。現存天守を持つ12城の一つで日本100名城に選定されている。

◎大洲城跡 (同大洲市) 日本 100 名城 No. 82

藤堂高虎が近世城郭に改修し、脇坂安治の時に今見るような城となった。平成16年、当時の工法で天守閣が再建されたことで知られる(日本100名城)

◎八日市・護国重要伝統的建造物群

保存地区 (同内子町)

江戸から明治にかけて「木ロウ」で栄えた街並と大正五年に建てられた「内子座」で有名。

備後歴史研究会新聞

第7号

備陽史探訪の会「新会員証」発行！

会長に直撃取材！

備陽史探訪の会では、以前にも会員証を発行していたようですが、一時期から停滞していた模様。

このたび再開するに伴い、既存の会員証をお持ちの方にも再発行をされたようです。なぜでしょうか？

会長「以前の少し大きめのサイズだったので、今回はカードサイズに変更しました。これで財布に入れて携行しやすくなりますね。」

携行すると何かいいことが？

会長「きっと幸福度20%アップです！

えっ！そうなんですか！

会長「まあ、そういう人もいらっしゃるかな...と。行事の時に持ってきてもらえると会員特典が受けられます。」

じゃあ、逆に持ってこなかったら非会員扱いとか？

会長「まあ、そういう事もあるかも...しれませんがね。特にバス例会の時は名札代わりに使用する仕様になっていますのでね。」

おっ、オヤジギャクですか？

会長「う、おっほん！（怒）」

こりゃ、失礼。道理で名前が大きな訳ですね。逆に持参してなかったら一般並の会費になっちゃうとか？

会長「あーそりゃいいですね。そうしちゃうまじょうか。（笑）」

うげえーまちー？

会長「まあ、それはさておき、今回初めてお手元に会員証が届く皆様には、大変長らくお待たせしました。今後とも探訪の会をよろしく願います。それから、次の話題いいいのですか？」

えっ？

「備陽史研究」

第24集刊行！

なしくずし的に次の話題ですね。

「備陽史研究」以前は山城志といった研究誌ですね。今年は大変、長らく待たされた感がありますが？

会長「まあ、それは質のよいものを作るにはそれなりにね、ウッホン」今回の行事案内に同封されるんですよ。

会長「会員さんには一部無料で配布

しております。今回も充実した内容になっており、たとえば……」

あ、もうスペースがないのでこの辺で、もういいですよ。

会長「え、これからのに！」

それより、またまた、リレー講演するんですよ

会長「一応8月に予定していますよ」

各論考、レポートに関してより詳しい内容が聞けるというわけですね。これは楽しみです。今回はありがとうございました！（強制終了！）

びんご歴史クイズに 正解して ぶら探訪をもらおう！

びんご歴史クイズ全問正解者に「ぶら探訪参加券」をプレゼント！6枚綴りになっており、しかも、会員・一般共通という太っ腹企画！

おひとり様で6回無料参加でもよし！会員以外のお友だちは誘って、みんなで参加もよし！

使い方は当選者次第です！

（但し、換金、転売はご容赦を！）

全問正解者が多い場合は抽選とさせていただきます。

○応募申込は

事務局宛てにハガキで応募、もしくはインターネットの公式サイトのお募フォームから
※電話での受付はありません。

○応募締め切りは

5月31日（火）まで

この山城の備後 50選 4

コンパクトにまとまった戦国山城 医王山城跡

- ◎山城としての評価C
- ◎登り易さB
- ◎降り易さB

所在地 三原市深町
比高 約一〇〇メートル
築城者 不詳(石原氏か)

城の歴史 戦国時代、尾道市木門田の家政城に居た石原氏が、新たに築城し、居城としたと伝わる。

城の位置する三原市深町は、隣の尾道市美ノ郷町本郷、木之庄町木門田と共に、木頃庄または本郷庄と呼ばれる荘園であったと考えられ、城はその西端の要衝を占めている。石原氏は、室町幕府三代

將軍足利義満から、この木頃庄の地頭職に任命され、この地に來住したと伝わるが、本郷庄の地頭職は南北朝時代、杉原信平に与えられたことが分かっており、石原氏の伝承と矛盾する。

戦国時代、石原信



医王山城跡

濃守は「武衛(渋川氏)一の仁」と呼ばれており、この頃在地で大きな勢力になったと考えられる。その後小次郎景直は、木梨氏と争い、一時は鷲尾山城を攻略したという。

渋川氏滅亡後は毛利氏に従い、慶長初年の知行高は千六百石余りであった(広島時代分限帳)。

見どころ 尾道市美ノ郷町から三原市中之町に通ずる細長い平野に南から突出した尾根を三重の堀切で画し、先端に二段の曲輪群を

築いたもので、曲輪群は其々二・三段の曲輪で構成される。周囲に畝状堅堀群は見られないが、切岸の各所に石垣が見られ、総石垣に近い構造であったと推測され、慶長五年の最後の段階まで使用されていた可能性がある。

びんご歴史クイズ 17

- ① 帝釈峡遺跡群の主な立地は？
イ) 河岸段丘 ロ) 洞窟・岩陰 ハ) 丘陵斜面 ニ) 山頂
- ② 次の備後国人衆の内、室町幕府奉公衆でなかった者は？
イ) 宮氏 ロ) 山内首藤氏 ハ) 杉原氏 ニ) 三吉氏
- ③ 次の城跡の内、福島正則が支城として取り立てたのは？
イ) 相方城(福山市) ロ) 比熊山城(三次市)
ハ) 尾道城(尾道市) ニ) 五品嶽城(庄原市)
- ④ 福山上水道の水源となった池は次のうちどれでしょう？
イ) 論田池 ロ) 瀬戸池 ハ) 服部池 ニ) 春日池
- ⑤ 片山病を風土病として初めて研究した医者は誰でしょう？
イ) 窪田次郎 ロ) 吉田龍造 ハ) 寺地舟里 ニ) 藤井好直

正解者に
景品あり
4頁を見て
ネ

今回も会長さんからの挑戦状！？です☆ Let's Challenge!

6月4日(土)

ぶら探訪 40

福山城シリーズ第5弾!

～小丸山から本丸まで、
残された歴史の破片を訪ねて～

2013年2月の「ぶら探訪9 福山城の痕跡を歩く」から始まった福山城シリーズ第5弾! 過去4回で廻れなかった福山城に残る歴史の痕跡をじっくりゆっくり歩きます。

歩くのは基本的に福山城内ですが、通常の観光ルートから大きく外れますので、念のため歩きやすい服装・靴でお越しください!

【集 合】 午前9時

JR福山駅北側 噴水広場

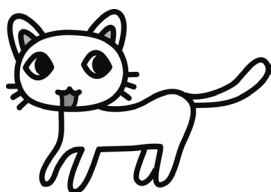
【参加費】 100円(会員) 300円(一般)

【講 師】 田中 伸治(福山城郭研究家)

【その他】

※飲み物持参、歩きやすい
服装・靴で参加。

※解散は11時30分頃、
福山城内にて



『備陽史研究』

(旧「山城志」)

第24集 発行!

1冊 1,000円

(郵送の場合は別途郵送料がかかります)

※会員には1家族1冊ずつ無料配布します。
(5月行事案内に同封します。)

《論考》

◎備後櫛崎氏について(田口義之)

◎福山城下町建設前後の福山西部の変(瀬良泰三)

◎福山城本丸御殿の実態について

—御殿復元を試みる—(田中伸治)

《研究ノート》

◎南北朝期に於ける杉原惣領家の交替について
(木下和司)

《古墳レポート》

◎福山市土井の塚古墳測量調査報告書(山口哲晶)

《紀行文》

◎東海道五三次一人歩き(四日市から坂下宿)

(岡田宏一郎)

6月12日(日)

バス例会

備中・浅口の 城館を探訪する

鴨方の鴨山城跡を中心に、浅口市の歴史を巡ります。

【集 合】 午前8時20分

JR福山駅北口観光バス乗り場

【参加費】 2,700円(会員)

3,000円(一般)

【講 師】 原田 寛雄(副会長)

【主な見学地】

かもがた町家公園(「旧鴨方往来」沿いに2棟の町家や土蔵、井戸などを修復、芝生広場などをあわせもつ歴史的景観を残す憩いの公園)・西山拙斎塾跡・石碑・鴨神社・鴨山城(細川氏)(階段状の削平地・石積・堀切。「鴨山城趾」の碑石や石組みの井戸もあり。南麓には鴨方藩(岡山新田藩)の陣屋跡がある。)一阿藤伯海生家・碑・墓地一明王院(寺域が広く、応天門を通り、杉や松がうっそうとした参道を通ると、境内の客殿や多宝塔、庭園が目をはひく)

【その他】

※解散は福山駅北口

(16時20分頃の予定)

かもがた町家公園

旧鴨方往来沿いにある公園。「日本の歴史公園100選」に選定されている。



浅口市HPより



鴨山城(細川氏居城)

鴨山城は本丸の北に3つの郭、南東に4つの郭が設けられ、北の第一郭と第二郭の間に堀切があり、南東の第四郭は大きな石材を使用した野面積みの石垣で囲みである。鴨山城趾記念碑が建っているのは南東の第四郭である。

7 月 2 日(土)

ぶら探訪 41

柳津ぶら歩き♪ ～古き街道と縄文・古代～

【集 合】 午前 9 時 40 分
ホームプラザ ナフコ松永店 駐車場
(柳津町 3 丁目 1 番 14 号)
(鞆鉄バス沼南線利用 /
「松永駅南口」バス停 9:30 発
「ニチエー前」下車 170 円)

【参加費】 100 円 (会員) 300 円 (一般)

【講 師】 河本 正二 (近世史部会幹事)

【主な見学地】

潮崎神社、井戸・四つ堂、善立寺、風呂本薬師、
観音寺、橘神社、岩井の井戸、村名由来の地碑、
普賢堂、王子神社、馬取貝塚

【その他】

※飲み物持参、歩きやすい服装・靴で参加。
※解散は 11 時 30 分頃、ナフコ駐車場にて
※交通量は多く、道は狭いので安全に気をつけて歩いてください。



柳津は松永湾における古くからの良港。町並みは鞆沼隈方面への往還の趣きを多く残し、種々産物の積み出し港として栄えた跡も見られる。また、馬取貝塚などからこの地方でも特に早くから人が住み始めた地域であることがわかる。さらに神武天皇や橘逸勢など古代の人々の伝説も多い。



7 月 23 日(土)

特別歴史講演会

「弥生から古墳時代の 出雲と吉備の 葬送儀礼」

講師 坂本 豊治 氏
(出雲弥生の森博物館主任)

【時 間】 午後 2 時～3 時半

【場 所】 県立ふくやま草戸千軒ミュージアム
地下講堂
(広島県立歴史博物館・福山市西町)

【参加費】 無料

※申込不要。直接会場で受付します。
先着 300 名

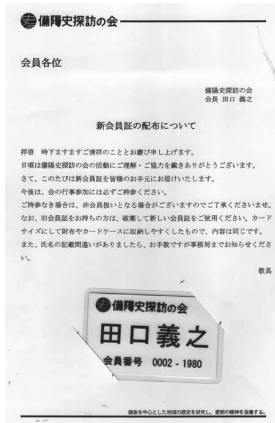
県立歴史博物館共催

『会員証』も 同封しました！

行事案内 7 月号に各会員様 1 人 1 枚ずつ会員証を同封しました。姓名があっているかどうかご確認ください。

この会員証は備陽史探訪の会の会員であることの証です。探訪の会の行事の際は必ず、携行ください。財布のカード入れに収納できるカードサイズとなっています。(なお、すでに会員証をお持ちの方は新しい方をご使用ください。)

今後、会員証の提示がない場合は、会員特典が受けられない場合がでてくるかもしれません。行事の際には携行する習慣づけをお願い致します。



お知らせ＆お願い

備陽史探訪の会の各部会の講座について、各講座につき4月より資料代として100円を戴くことになりました。よろしくご了承・ご協力ください。それに伴い、古文書講座も参加費用として100円を頂戴いたします。よろしくご了承ください。

古代史部会	中世史部会	近世・近代史部会
「古墳講座」(第369回) ※5月の「古墳講座」は お休みします。 ◆6月24日(第4土) 午後7時～ ◆福山市民参画センター ◆講師 湯川勝彦 【内容】「安芸の遺跡から～塩づくり・古墳、そして国分寺(仮称)」 今年の秋のバス例会で探訪を予定している「製塩遺跡」や「三つ城古墳」、「安芸国分寺」を中心にした内容です。	「中世を読む」(第341回) ◆5月21日(第3土) 午後2時～ ◆福山市民参画センター ◆講師 木下和司 【内容】「杉原信平嫡流 本郷杉原氏と備後国本郷庄」 ◆6月18日(第3土) 午後2時～ ◆福山市民参画センター ◆講師 大場和弘 【内容】「江田島の中世と近代」 「一城跡から戦争遺産まで」 江田島市にある城跡の紹介と、9月予定のバス例会でめぐる江田島の戦争遺産について	「近世福山を読む」(第39回) ◆5月14日(第2土) 午前9時45分～ ◆福山市民参画センター ◆講師 瀬良泰三 ◆内容 「地形から福山の歴史を考える —福山の歴史地理学事始め—」 地形は歴史を記録する。最近話題の高低差や段差、地質などから福山の歴史を考えていきます。今回は太古の福山や穴の海から福山築城前ぐらいまでを取り上げます。 ◆6月11日(第2土) 午前9時45分～ ◆福山市民参画センター ◆講師 高木康彦(部会長) ◆内容 前回(4月度)の続きを取上げます。 「一水野家臣団 家臣の収入」

古文書講座

「古文書入門」

初回のみ

要
申込



◆5月19日(第3木) 午後7時～

◆場所 福山市民参画センター

【内容】「河本家文書」

◆6月24日(第4金) 午後7時～

◆場所 福山市民参画センター

【内容】「河本家文書」

※テキスト代別途。

5月は第3木曜日です。

お間違えなきように！



会報 190 号原稿募集！

6月発行の会報 190 号の原稿を募集しています。備後郷土史に関するものは何でも差支えなし。論文・論考・資料提供・絵・写真・俳句・随筆・昔語り・質問、他、例会報告など会員の皆様の投稿をお待ちしております。5月16日(月)までに事務局編集部まで。規定は16文字×120行。(論文・論考は16文字×244行程度)



備陽史探訪の会

【事務局】

〒720-0824 広島県福山市多治米町5-19-8

TEL&FAX 084-953-6157

E-mail info@bingo-history.net

公式サイト

<http://bingo-history.net>